

**環境保全行動報告書**  
**自動車使用管理実施報告書**

## 1 行動目標の達成状況

計画期間 平成18年4月1日～平成21年3月31日

報告期間 平成19年4月1日～平成21年3月31日

行動目標	管理対象 排出量等  A	目標排出 量等	平成18年度結果			19年度結果			20年度結果		
			実績排出 量等 B	削減率 (%) 100(1-B/A)	結果	実績排 出量等 B	削減率 (%) 100(1-B /A)	結果	実績排 出量等 B	削減率 (%) 100(1-B/A)	結果
電気 (kwh)	296,940	293,080	285,180. 0	4.0	○	296,940. 0	0.0	○	225,890 .0	23.9	○
A重油(kl)	160,975	158,882	132,419. 2	17.7	○	124,860 .4	22.4	○	114,502 .0	28.9	○
軽油(kl)	206,448	203,764	176,880	14.3	○	173,712 .0	15.8	○	134,376 .0	34.9	○
ガソリン	113,050	111,580	122,940	▲8.7	×	112,574 .0	0.4	○	109,480 .0	3.2	○
灯油(kl)	36,201	27,294	37,960.6	▲4.9	×	37,206. 5	▲2.8	×	24,888. 1	31.3	○
二酸化炭素削減	814,203	795,182	755,123	7.3	○		8.4	○	609,159	25.2	

## ※1 「削減率」欄の記載

管理対象排出量等より増加した場合は数値の前に▲を記載

## ※2 「結果」欄の記載

○：目標達成（実績排出量等が目標排出量等より削減）

△：未達成（実績排出量等が管理対象排出量等より削減、目標排出量等は未達成）

×：未達成（実績排出量等が管理対象排出量等より増加）

## 2 行動目標を達成できなかった項目と理由

なし

## 3 行動目標を達成するための見直しの内容

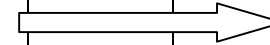
&lt;継続&gt;

行動目標を達成するために、定期的な、掲示板での啓蒙、所属責任者への定期的な連絡。

車輛管理の再徹底

冷暖房時の温度設定の徹底・確認

#### 4 行動計画

目標	行動計画（取組内容）	18年度実施状況	目 標		
			18年度	19年度	20年度
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	昼休みや残業時の不要な照明を消す	一部の部署	実施		
	更衣室、書庫、会議室等の不要な照明を消す	実施している	実施		
	ブラインド・カーテン等の適切な使用により冷暖房負荷を軽減する	実施している	実施		
	コピー機は節電モードで使用する	実施している	実施		
	近い階への移動はエレベーターを使用せず階段を使う	実施している	実施		
	室内基準温度を設定する。ボイラーの温度設定を80度。冷暖房は、28度。	実施している	実施		
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	アイドリングストップの実施	実施している	実施		
	積載効率や配送時間、配送ルート等を再点検し、効率的な配送に務める	実施している	実施		

#### 5 環境保全活動の取組み状況

ウォームビズの効果を図るため、地球温暖化防止のため、暖房時のオフィスの室内温度を20度Cにするため、ボイラーの設定温度を日々調整する。

また、クールビズの効果を図るため、温室効果ガス削減のために、夏のエアコンの温度設定を28度Cにし、企業努力を行う。

## 別紙1

## 燃料・熱使用量原油換算計算シート

報告期間中に、札幌市内で使用した全ての燃料が換算対象になります。  
自動車用燃料については、札幌市内で管理(駐車施設保有)する車両が対象になります。

燃料・熱の種類		使用量		換算係数	原油換算使用量
		1	2	2	(kL) 1×2
燃料	灯油	kl	9.9	0.96	9.50
	A 重油	kl	40.9	1.02	41.71
	B 重油	kl		1.09	
	C 重油	kl		1.09	
	LPG	t	0.01	1.31 (kL/t)	0.0131
	都市ガス1 3A 天然ガ ス	m <sup>3</sup>	0.3	1.09 (kL/km <sup>3</sup> )	0.000327
その他	熱供給(蒸 気)	MJ		0.0000262(k L/MJ)	
自動車用燃料	ガソリン(レ ギュラー・ハイ オク)	kl	46.0	0.91	41.86
	軽油	kl	50.9	1	50.9
	天然ガス (CNG)	km <sup>3</sup>		1.09(kL/ km <sup>3</sup> )	
	液化石油 ガス(LPG)	kl		1.31×0.56	
燃料・熱使用量合計(kL)				合計	143.98

別紙2

二酸化炭素排出量計算シート

- 「使用量」の欄には、報告期間中に札幌市内で使用した全ての燃料使用量を記入して下さい。自動車用燃料については札幌市内で管理(駐車施設保有)する車両の燃料消費量を記入して下さい。
- 「二酸化炭素総排出量」は、報告期間中に札幌市内で使用した全ての燃料から発生する二酸化炭素排出量です。
- 「実績排出量(二酸化炭素)」は、削減対象とした燃料の報告期間における二酸化炭素排出量です。「使用量」の欄に記載した燃料のうち、計画書で「管理項目」として指定した削減対象燃料の二酸化炭素排出量を計算して合計して下さい。

報告期間 平成19年4月1日～平成20年3月31日

エネルギー消費量		使用量 1	発熱量をもとにした 排出係数 2	換算係数 3	二酸化炭素総 排出量(参考) (kg) 1×2×3	実績排出量 (二酸化炭素) (kg)
事業所・工場等で使用する燃料(自動車除く)	灯油	kl	9.9	0.0685(kg-CO2/MJ)	36.7×1000(MJ/kl)	24,888.1
	A 重油	kl	40.9	0.0716(kg-CO2/MJ)	39.1×1000(MJ/kl)	114,502.0
	B 重油	kl		0.0720(kg-CO2/MJ)	41.7×1000(MJ/kl)	
	C 重油	kl		0.0716(kg-CO2/MJ)	41.7×1000(MJ/kl)	
	LPG	t	0.01	0.0586(kg-CO2/MJ)	50.2×1000(MJ/t)	29.4
	都市ガス 13A 天然ガス	m <sup>3</sup>	0.3	2.36(kg-CO2/m <sup>3</sup> )	1×1000	0.7
	電力	万kWh	46.1	0.49(kg-CO2/kWh)	—	225,890.0
	熱供給 (蒸気)	MJ		0.066(kg-CO2/MJ)	—	
	小 計(kg)					365,310.2
燃料 自動車用	ガソリン	kl	46.0	2.38(kg-CO2/L)	1×1000	109,480.0

	ハイ ク)						
	軽油	kl	50.9	2.64(kg-CO2/L)	1 × 1000	134,376.0	
	天然ガス (CNG)	km <sup>3</sup>		2.36(kg-CO2/ m <sup>3</sup> )	1 × 1000		
	液化石 油ガス (LPG)	kl		1.65(kg-CO2/L)	1 × 1000		
小 計(kg)						243,856	
合 計(kg)						609,166.2	
再 計(kg) (端数処理任意)						609.166	

## 自動車の使用状況(報告書用)

### 1 自動車の保有状況

保有形態	使用台数 (台)	低公害車の 台数(台)	事業所の名称	事業所の所在地
所 有				
小 計			—	—
借受け (1年以上)	87	42	札幌本社	札幌市北区
	5	2	札幌中央支店	札幌市中央区
	6	4	札幌西支店	札幌市西区
	5	5	札幌白豊支店	札幌市豊平区
	6	5	新さっぽろ支店	札幌市厚別区
小 計	109	58	—	—
合 計	109	58	—	—

### 2 燃料区分による実績

燃料の種類	使用台 数(台)	燃料消費 量(kl/年) ※1	排出係数 (kg-CO2/L) ※2	二酸化炭素排出量 (kg/年) $1 \times 1000 \times 2 = 3$	走行距離 (千 km/年) 4	燃料消費量 (千 km/kl) ※4÷1	単位走行距 離あたりの CO2 排出量 (kg/km) $3 \div (1000 \times 4)$
ガソリン	59	46.0	2.38	109,480.0	549	11.92	109
軽 油	50	50.9	2.64	134,376.0	762	14.98	134
天然ガス(CNG)※			2.36				
液化石油ガス (LPG)			1.65				
その他 ( )							
合 計	109	—	—	243,856	1,311	—	243

※ 天然ガスについては単位の k l、L を、それぞれ k Nm<sup>3</sup>、Nm<sup>3</sup> に読み替える。

注1 この別紙は認証登録の範囲内において使用する自動車に関する事項を除いたものとしてください。

2 自動車の使用台数は、報告期間の3月31日現在の状況を記入してください。

3 低公害車の台数の欄には、環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成13年2月2日閣議決定)に規定する自動車、窒素酸化物又は粒子状物質を低減させる装置の性能評価実施要領(平成14年国土交通省告示第17号)により国土交通大臣が適当であると認めた低減装置を装着した自動車の合計台数を記入してください。